

## 毎日が武者修行

自由民主党再生会議に参加、宇都宮大学工学部で講義、下野新聞にコラム執筆

開倫塾

塾長 林 明夫

## 1. はじめに 自由民主党再生会議に参加して

おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

(1)10月10日土曜日に、自由民主党(自民党)の再生会議が宇都宮のホテルニューイタヤで午前10時から午後2時すぎまでありました。谷垣自由民主党総裁もお見えになり、これからの自由民主党をどのように立て直したらよいかを話し合いました。

(2)茂木敏光衆議院議員が栃木県の自民党県連の会長になられて強力なリーダーシップを振るわれ、全国で初めて谷垣総裁を地方にお招きして、自民党をこれからどうするかについて話し合いを持ったのです。

(3)19名の方がそれぞれの意見を述べましたが、そのうちの一人に私も入れさせていただき、政権をとった民主党はもちろん、自由民主党にも大いに頑張ってもらいたいということで意見を述べさせていただきました。

(4)私がお願いしたのは、「みんなの党」という新しい政党ができたことに関してです。なぜ「みんなの党」ができたのか、なぜ渡辺善美さんが自由民主党を飛び出したのかをよく考えて、今後の自由民主党運営に生かしたほうがよいのではないかということです。渡辺さんは、自由民主党政権時代には行政改革大臣であったわけですが、行政改革がきちんと進んでいけば、もしかしたら自由民主党を飛び出なかったかもしれません。自由民主党は積極的に行政改革をしようという考えが薄くなってしまったのではないかと、逆に民主党では改革への意欲が強まり、それを国民が期待しているのではないかと意見を述べさせていただきました。表現の仕方はさまざまでしたが、他の方々も同じような内容の意見を述べられていました。

(5)国政にしる、地方議会にしる、自由民主党から公認の候補者を出すときには公募制にすることも提言いたしました。自由民主党は野党になり大変な思いをしていますが、与党になった民主党がしっかり政治を行う、また、野党になった自由民主党が野党としての責任をしっかりと果たし、政府を批判することによってよい国ができれば素晴らしいと思います。

## 2. 宇都宮大学工学部で講義をして

(1)ところで、10月7日と14日の火曜日には、宇都宮大学工学部で3・4年生130～140名を前に「経営工学序論」の講義をさせていただきました。

(2)経営工学序論の講義は全部で15回ありますが、そのほとんどを栃木県内の経営者の方々が代わり番で行います。これをオムニバスと言いますが、このようなオムニバスの形で授業を行い、経営とは何かや学生の皆さんにはどのようなことを頑張ってもらいたいのかななどを、期待を込めながらお話しています。宇都宮大学の学生さんたちは非常に熱心に話を聞いて下さいます。

(3)私がお話したのは、経営的なものの考え方についてです。私は、「経営とは営みを経て目的や目標を達することだ」という考えを持っています。では、営みを経て目的や目標を達するためにはどうしたらよいのか。それには、高い志を持ってお客様の問題解決のために仕事をすること。また、独自能力を発揮すること。従業員や社員の能力を強化し、権限を委譲することで労働生産性を向上させ雇用を維持するという形で、社員を大切にすること。法令を遵守し違法行為をしないようにしながら、また、社会貢献活動をしなが、企業市民としての立場で社会との調和を考えて企業活動を行ったらよいこと。このようなお話をさせていただきました。

(4)学生の皆さんからは非常に熱心な感想が寄せられ、私にとってもとても勉強になった90分、2回の授業でした。

このような形でときどき学校に行ってお話をさせていただいています。学生の皆さんにも為になると思いますが、話をさせていただく私にとっても非常に為になります。このような機会を得られることをとても光栄に思います。

## 3. 下野新聞にこれから半年間コラムを執筆

(1)話は変わりますが、私は、これから月に2回、第2と第4日曜日に下野新聞にコラムを連載させていただくことになりました。内容は、中学3年生つまり受験生に向けた「このような仕方で勉強すれば、成績の向上が望めるのではないか」というものです。今年の10月から来年の3月まで、12回にわたって掲載されます。これも私にとってもとても勉強になります。

(2)受験勉強で一番大切なことは何かと言いますと、「本人の自覚」です。何のために勉強するのか・何のために上の学校に行くのか・上の学校に行ったらどのような勉強をするのかという自覚を持つことが最も大事である。このようなことを中心に据えて、文章を書かせていただこうと考えています。

(3)自覚を持って勉強することは普段の勉強でも大事ですが、受験勉強ではなおさら大事になります。先程もお話しましたが、何のために受験勉強をするのか・何のために進学するのか・上の学校に行ったら何をどのように勉強するのか、自分の得意分野は何か・自分の弱点は何かをよく自分で認識した上で、自分の得意分野を伸ばしながらどのようにしたら弱点を克服できるのか。これらを、受験生としての自覚として大切なことだと私は考えます。

(4)この受験生としての自覚を持ちながら勉強にあたり、嫌々ではなく積極的に勉強に取り組むことができます。

(5)この放送で20年以上にわたってお話したことをわかりやすくまとめ、できるだけ具体的に下野新聞に書かせていただこうと考えています。もしよろしければ、皆様も下野新聞に10月から第2と第4の日曜日に掲載される私の文章をお読み下さい。拙い文章かもしれませんが、皆様のお役に立つこともあると思います。

#### 4. おわりに

開倫塾の塾長としての仕事の他に、自由民主党再生会議など公の会議で発言させていただいたり、宇都宮大学工学部など大学で授業をさせていただいたり、下野新聞など新聞に自分の考えを書かせていただいたり、さらには、このような形ではありますが、CRT 栃木放送というラジオで番組を持たせていただくなど、どれだけ皆様のお役に立てるか心配ではありますが、毎日が武者修行をしているような人生であるなと最近は思います。

皆様は毎日をごどのようにお過ごしでしょうか。皆様も勉強やお仕事で忙しいとは思いますが、言うべきことは言う、書くべきことは書くというように積極的な行動をなさると、準備や普段の勉強はたいへんではありますがおもしろいと思います。ぜひ勇気を持って御挑戦していただければと思います。

2011年5月15日補訂